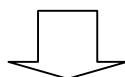


授 業 T i p s 集

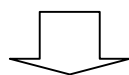
兵庫県立芦屋国際中等教育学校 岩見 理華

授 業 に お ける 問 題 点 ・ 課 題 の 特 定	
セールスポイント（掴み）	個別音源を用いることによる個々の理解度に合わせたリスニング活動
Before After (何ができていなかったか) (何ができるか / 何ができたか)	<p>Before カセットプレーヤーを使って、一斉に英文を流すと、生徒個人の理解度に合わせることができない。一文ずつ停止して聞かせても教材の全体の流れがつかみにくい。教師が機器を操作したり調整したりしている間は少し生徒がざわついたりすることもあり、授業に対する集中力を欠いたりすることもある。</p> <p>After 速度の異なる教材を用意し、個別音源を用いて英文を聞かせることにより、生徒が個々に自分の理解度に合わせて、機器の一時停止ボタンを使いながら何度も聞き直すことができる。</p>



改 善 策 の 検 討 (Plan) ・ 実 践 (Action)	
授 業 場 所	普通教室
授 業 形 態	一斉学習と個別学習
使 用 場 面	既習文法項目確認とプロダクション活動のためのリスニング活動
使 用 I T	個別音源（シリコン・オーディオ）ヘッドフォン
準 備 難 度	I T 初心者
対 象	中学 2 年生
単 元 名	Computer Communication (三省堂 NEW CROWN Lesson 8) 「比較級を学習するためのリスニング活動」
指 導 目 標	<p>(1) 2つの製品を比べるときに比較級を用いて表現できるように、大きさや、重さ、高さ、幅、値段などを表す単位や数字（1万以上の単位や小数点を含む数字）の表現方法について理解することができる。</p> <p>(2) オーセンティックな教材を聞き取ることにより、自然な英文のスピードに慣れることができる。</p>

授 業 手 順	<p>(1) この活動の目的と目標、場面設定、内容、次の活動とのつながり (以下参照) について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 「比較級」を実際のコミュニケーション場面で使用することができる。 ・目標 上記 10 の指導目標に同じ。 ・場面設定 MD プレーヤーを買うために友達と大阪の電気屋さんに電車で向かっている。電車には MD プレーヤーのつり広告がある。ラジオを聞いていると、ちょうどその広告の MD プレーヤーの宣伝が流れてきた。 ・内容 個別音源の教材を聞き取り、ワークシートを完成する。個別音源にはスロースピードとナチュラルスピードが用意されているので、自分のレベルにあわせて教材を選び、最終的にはナチュラルスピードの方も聞き取れるよう、挑戦していく。 ・次の活動 ワークシートに聞き取った内容を用いて、自分の買いたいと思う製品を理由 (「比較級」を用いて) を説明する。
---------	---



リ フ レ ク シ ョ ン (省 察)	
I T 導入前	<p>習熟度別クラスであっても、生徒のリスニング能力は多様で、教材の難易度によっても異なるため、これまでなかなか文法指導のための自作教材を授業に導入することができなかった。</p>
I T 導入後	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が個人の能力や理解度に応じて、一時停止ボタンを使いながらワークシートに記入する作業がスムーズに行えた。 ・同じ教材を自分のペースにあわせて繰り返し聞くことにより、教材に対する理解を深めることができた。 ・スピードの異なる教材を用意することにより、さらに難しい教材に挑戦する意欲も向上することができた。 ・ヘッドフォンを用いることによって、一斉授業型の普通教室であっても、生徒が個人の活動に集中することができた。
今後の課題	<p>個別活動中の生徒の観察の方法や、個別活動と全体活動とのバランスを考え、授業全体をメリハリをもたせると同時に最終的な活動にスムーズに移行できるように指導内容と方法を工夫していきたい。</p>